発表題目　　日本の鬼に関わる祭礼を俯瞰して一考

山崎敬子・玉川大学芸術学部パフォーミング・アーツ学科非常勤講師

キーワード：オニ　民俗芸能　祭礼　図鑑

本文・・・・・（要旨は、2 ページまで）

【要旨】
「オニ」という言葉を知らない日本人はいないと思われる。日本の文化・風習に根付いているオニではあるが、ではその中身は？というと意外に言葉で説明しきれない存在でもある。「オニ」に分類される存在が多岐にわたるためである。「日本の鬼の交流博物館」（京都府福知山市大江町）では「オニ」を大きく１０分類している。

【日本の鬼の交流博物館の鬼分類】
① 祀られる鬼
② 暮らしの中の鬼
③ 民俗芸能の鬼
④ 演じられる鬼
⑤ 能・狂言の鬼
⑥ 鬼女・般若
⑦ 節分の鬼
⑧ 退治される鬼
⑨ 世界の鬼
⑩ 鬼瓦

今回は、その中から「民俗芸能の鬼」「節分の鬼」など祭礼に登場する鬼について、現在作業を進めている全国鬼図鑑（案）を活かしながら、鬼ごっこの基本となる「鬼文化」が日本にどれほど幅広く存在しているかを報告したく思う。
※参考までに作製中のマップを添付します。

図①鬼図鑑　北陸編（案）

図②鬼図鑑　近畿編（案）